

— 6. 支部総会報告 —

## 平成 25 年度日本気象学会北海道支部総会報告

平成 25 年度日本気象学会北海道支部総会は、平成 25 年 6 月 24 日（月）13 時から北海道大学遠友学舎談話ラウンジにおいて開催した。

稲津幹事長から総会が成立（支部会員 188 名のうち出席者 13 名、委任状 116 名 計 129 名で 2/3 以上の出席）した旨の報告があった。

高野支部長の挨拶のあと議長の選出を行ない、議長に川島幹事が選出され、議事が進められた。鈴木幹事から 6 月 6 日の理事会において第 29 期支部役員が選出結果及び役員名簿について報告があった。稲津幹事長より「支部役員に関する規約の変更」、「細氷の冊子体廃止および電子媒体化」、「その他の変更」について提案があり、すべて議案が承認された。続いて鈴木幹事から「平成 25 年度支部事業計画」、「平成 25 年度支部予算書」の提案があり、すべて承認された。また、平成 24 年度支部会計収支報告が行われ、松岡会計監査から平成 24 年度支部会計監査報告があった。本総会では、報告・提案されたすべての議案が承認された。

### 【支部総会次第】

- 1 開 会
- 2 支部長挨拶
- 3 議長選出
- 4 議長挨拶
- 5 議 事
  - (1) 第 29 期後期支部役員名簿
  - (2) 支部定員削減に関する議案
  - (3) 細氷電子化に関する議案
  - (4) その他の変更に関する議案
  - (5) 平成 25 年度支部事業計画（案）
  - (6) 平成 25 年度収支予算書（案）
- 6 報 告
  - (1) 平成 24 年度支部事業報告
  - (2) 平成 24 年度支部会計収支報告
  - (3) 平成 24 年度支部会計監査報告
- 7 閉 会

日本気象学会北海道支部

役 員 名 簿

平成 25 年 6 月 24 日

役 職	氏 名	所 属
支 部 長	高野 清治	札幌管区气象台
常任理事	林 久美	札幌管区气象台
常任理事	藤吉 康志	北海道大学低温科学研究所
常任理事	山崎 孝治	北海道大学大学院地球環境科学研究院
常任理事	小林 利章	(一財)日本気象協会北海道支社
理 事	輪島 淳	札幌管区气象台
理 事	石渡 正樹	北海道大学大学院理学研究院
会計監査	松岡 直基	(一財)日本気象協会北海道支社
幹 事 長	稲津 將	北海道大学大学院理学研究院
幹 事	川島 正行	北海道大学低温科学研究所
幹 事	馬場 賢治	酪農学園大学
幹 事	鈴木 鉄雄	札幌管区气象台
幹 事	大矢 恒太朗	新千歳航空測候所
幹 事	欠 員	
全国理事	長谷部 文雄	北海道大学大学院地球環境科学研究院

< 常任理事・支部長の選出及び幹事の指名 >

- 常任理事 5 名選出 支部規約第十条により、理事の互選によって理事の中から定める。  
 支部長選出 支部規約第十条により、理事の互選によって常任理事の中から定める。  
 幹事 6 名選出 支部規約第十一条により、支部長の指名によって会員の中から定める。

「支部役員に関する規約の変更」

議案：日本気象学会北海道支部規約の以下の条項を次の通り改訂する。

第 八 条 本支部に次の役員をおく。

理 事 3 名（内支部長 1 名、常任理事 1 名）

会計監査 1 名

幹 事 4 名以上（内幹事長 1 名）

第十一条 幹事長および幹事は支部長の指名による。

第十二条 支部長は本支部を代表して会務を総理する。支部長に事故ある時は、常任理事がその職務を代行する。

第十三条 理事は本支部の会務を統括する。その統括に基づき、幹事は本支部の会務を実施し、幹事長がそれを主導する。会計監査は本支部の会計を監査する。なお、理事は幹事長を兼務することができる。

第八条が役員定数削減に関する提案、第十二条が第八条の変更に伴う変更である。第十一条は幹事長を明示する変更である。第十三条は理事・幹事の役割を明示する変更である。

なお、第八条は平成 26 年度に実施される役員選挙より有効となる。

提案理由：

日本気象学会北海道支部の会員が勤務する各機関の業務が増大している中で、当支部においては、より効率的かつ機動的な運営が求められている。現行の支部規約は、運營業務の外注や軽減が進んだ現行の運営にあたって役員数は過大であると考えられる。また、学会の公益法人化に伴って、学会本部の役員数は縮減されている。このようなことから、運営に最小限必要な人員を幹事として配し、かつ幹事長が幹事を主導する形とすることにしたい。また、常任理事を 1 名として支部長代理と明示することで、支部長の欠員補充をスムーズに行うことができる。さらに、理事には総括的・統括的な任務にあたることを明示し、幹事との業務分担を明確化できる。必要に応じて理事は幹事長を兼務可能とすることで、柔軟な役員構成を可能とする。

（参考）現行の規約

第 八 条 本支部に次の役員をおく。

理 事 7 名（内支部長 1 名、常任理事 4 名）

会計監査 1 名

幹 事 6 名

第十一条 幹事は支部長の指名による。

第十二条 支部長は本支部を代表して会務を総理する。支部長に事故ある時は、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。

第十三条 理事および幹事は本支部の会務を行なう。会計監査は本支部の会計を監査する。

『細氷』の冊子体廃止および完全電子媒体化」

議案：

日本気象学会北海道支部規約に以下の条項を加える。

第十六条 本支部は第四条の目的を達成するため支部機関誌「細氷」を電子媒体により発行する。前条の総会の議事の要項および議決した事項は、同機関誌等により支部会員に通知する。

この条項を実施するため、平成 24 年度をもって北海道支部機関誌「細氷」（以下、「細氷」）の冊子体を廃止し、平成 25 年度より「細氷」は電子媒体として北海道支部ウェブページにて公開にする。

なお、この条項の追加によって、北海道支部役員選挙規則第七条において支部機関誌「細氷」の発行を前提とする支部規約条項の欠落が解消される。

提案理由：

北海道支部機関誌「細氷」（以下、「細氷」）は、北海道支部役員選挙規則第七条において発行が前提とされており、かつ北海道支部規約第四条の支部会員の相互の連絡にかかわる重要な位置を果たしている。平成 23 年より 2 年にわたり幹事会、理事会、および支部総会において、「細氷」の冊子体廃止と電子媒体化に関する議論がなされてきた。そのなかで、近年の情報技術の進歩より、購読方法が支部ホームページから電子媒体をダウンロードするものへと変わりつつある状況が認識され、「細氷」のさらなる充実のために、カラー化と速報化を推進し、それに伴って冊子体を廃止することが意見として出された。さらに、書面にて広く支部会員の意見を募ったところ、「細氷」の冊子体廃止と電子媒体化について 3 件の賛成意見を得た。また、それについて反対意見はなかった。

支部においては、平成 24 年度にウェブページの拡充更新およびデザインの一新を図った。一方で、更新作業の外注をはじめ、幹事業務の一定の低減が達成された。

このようなことから、上記提案について、これまで十分な審議を尽くし、またその実施に十分な環境が整っていると考える。

平成 25 年 6 月 24 日  
日本気象学会 北海道支部幹事一同

「その他の変更」

議案：日本気象学会北海道支部規約の以下の条項を次の通り改訂する。

第 一 条 本支部は公益社団法人日本気象学会北海道支部という。

提案理由：

日本気象学会がこの 4 月より公益社団法人になるのに伴う改訂である。

(参考) 現行の規約

第 一 条 本支部は社団法人日本気象学会北海道支部という。

## 平成 25 年度支部事業計画 (案)

### 1 支部総会

日 時：平成 25 年 6 月 24 日 (月) 13 時～13 時 40 分

場 所：北海道大学 遠友学舎 談話ラウンジ

### 2 支部研究発表会

第 1 回 支部総会に引き続き行う。

日 時：平成 25 年 6 月 24 日 (月) 14 時～16 時

場 所：北海道大学 遠友学舎 談話ラウンジ

第 2 回 札幌管区気象研究会と合同開催

日 時：平成 25 年 12 月 中旬 (※12 月 17 日 (火) ～18 日 (水) を予定したい。)

場 所：札幌管区気象台 大会議室

### 3 気象講座 (一般向けのアウトリーチ)

ア 第 31 回気象講座 (サイエンスカフェ形式)

日 時：「未定」

場 所：「未定」

題 名：「未定」

進 行：「未定」

イ 第 32 回気象講座 (サイエンスカフェ形式)

札幌管区気象台と共催 (平成 26 年 1 月下旬頃予定)

### 4 気象講演会 (準専門家向けの講演会で高度専門知識の共有)

日 時：「未定」

場 所：「未定」

題 名：「未定」

### 5 支部HPの運営

支部だより、お知らせ、気象講座、気象講演会等の資料を随時掲載

### 6 支部理事会

第 1 回 平成 25 年 6 月 6 日 (木) 札幌管区気象台

### 7 支部幹事会

第 1 回 平成 25 年 4 月 25 日 (木) 札幌管区気象台

第 2 回 平成 25 年 9 月頃

第 3 回 平成 25 年 12 月頃

平成 25 年度収支予算書 (案)

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

日本気象学会北海道支部

項 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 収入の部			
事業活動収入			
支部交付金	585,200	580,400	4,800
夏季大学等補助金	100,000	100,000	0
事業収入 (事項なし)	0	0	0
雑収入			
預金利息	100	118	△18
その他 (前年度繰越金)	59,229	220,938	△161,709
事業活動収入計 (1)	744,529	901,456	△156,927
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出	(270,000)	(490,000)	(△220,000)
気象講演会経費	(120,000)	(150,000)	(△30,000)
旅費交通費	10,000		
通信運搬費	20,000		
消耗品費	20,000		
印刷製本費	20,000		
会場借料	30,000		
諸謝金	20,000		
気象講座経費	(150,000)	(150,000)	(0)
旅費交通費	20,000		
通信運搬費	20,000		
消耗品費	20,000		
印刷製本費	30,000		
会場借料	20,000		
諸謝金	40,000		
支部機関誌「細氷」刊行経費	(0)	(190,000)	(△190,000)
印刷製本費	(0)	170,000	△170,000
通信運搬費	(0)	20,000	△20,000
管理費支出	(430,000)	(300,000)	(130,000)
総会・理事会・幹事会費	(310,000)		
会議費	20,000		
旅費交通費	20,000		
通信運搬費	150,000		
消耗品費	50,000		

印刷製本費	60,000		
借料	10,000		
事務費	(120,000)		
委託費	107,000		
手数料	13,000		
事業活動支出計 (2)	700,000	790,000	△90,000
Ⅲ 予備費支出			
予備費	44,529	111,456	△66,927
予備費支出計 (3)	44,529	111,456	△66,927
当期収支差額 (A) = (1)-(2)-(3)	0	0	0
前期繰越収支差額 (B)	0	0	0
次期繰越収支差額 (A)+(B)	0	0	0



## 平成 24 年度支部事業報告

### 1 第 28 期役員選挙報告

- ・4月9日(月) 支部選挙管理委員会発足
- ・4月23日(月) 役員選挙告示(会員へ告示文送付・支部HPへ掲示)
- ・5月7日(月) 立候補者締切(立候補者なし)
- ・5月8日(火) 理事(7名)、会計監査(1名)推薦状作成
- ・5月14日(月) 投票用紙発送(支部会員)
- ・6月1日(金) 投票締切
- ・6月4日(月) 開票(支部選挙管理委員会)

### 2 日本気象学会北海道支部総会報告

日 時：平成 24 年 6 月 18 日(月) 14 時 00 分～14 時 30 分

場 所：北海道大学 学術交流会館 小講堂

出席者：通常会員 11 名、委任状 36 名 計 47 名

幹事長から通常会員数 65 名のうち出席者・委任状を合わせると 1/2 以上により、総会成立が確認され、報告・提案されたすべての議案が承認された。

### 3 支部研究発表会報告

#### 第 1 回

日 時：平成 24 年 6 月 18 日(月) 14 時 40 分～16 時 30 分

場 所：北海道大学 学術交流会館 小講堂

発表題数：5 題 参加者：20 名

#### 第 2 回

日 時：平成 24 年 12 月 11 日(火) 13 時 15 分～12 日(水) 11 時 30 分

場 所：札幌管区気象台 大会議室

発表題数：3 題(気象台 17 題) 参加者：約 50 名

### 4 第 30 回気象講座「新しい気象」

日 時：平成 24 年 7 月 28 日(土)

場 所：札幌市青少年科学館 受講者数：23 名

講演題目・講師：

- ・水の雲、氷の雲、過冷却の雲 (菊地 勝弘 北海道大学名誉教授)
- ・ペットボトルで雲を作ろう(実験)  
(稲津 将 北海道大学大学院理学研究院准教授)

### 5 気象講演会

目 的：竜巻の発生環境を再現する実験をとおして、竜巻が発生する流体力学的な条件について解説し、竜巻に対する理解の促進を図る。

テ ー マ：実験で見る竜巻の不思議

開催日時：平成 24 年 10 月 6 日(土) 12 時 00 分～13 時 30 分

開催場所：紀伊國屋書店札幌本店 Sapporo55 ビル 1 階インナーガーデン

来場者数：約 60 名

講演題目：実験で見る竜巻の不思議

講 師：佐々 浩司 (高知大学教育研究部 自然科学系理学部門 教授)

司 会：藤吉 康志 (北海道大学 低温科学研究所 教授)

- 6 支部機関誌「細氷」58号発刊  
印刷発注 平成25年1月8日、印刷原稿修正 1月11日  
納品日 1月18日、発行部数 250部、会員への発送 1月22日
  
- 7 特別気象講演会（サイエンスカフェ）  
※第7回札幌管区気象台サイエンスカフェとの共催  
テーマ：温暖化、どうなる未来？ ～地球温暖化の現状と予測～  
開催日時：平成25年3月16日（土）15時00分～16時30分（開場14時30分）  
開催場所：紀伊國屋書店札幌本店 sapporo55ビル1F インナーガーデン  
来場者数：約100名  
話し手：安部 俊司（札幌管区気象台気候・調査課 地球温暖化情報官）  
ファシリテーター：金村 直俊（一般社団法人日本気象予報士会北海道支部長）  
司 会：中井 美雅（HBCウエザーセンター 気象予報士）
  
- 8 支部理事会開催状況  
第1回 平成24年6月11日（月）札幌管区気象台  
第2回 平成24年9月6日（木）札幌管区気象台  
第3回 平成25年3月12日（火）北海道大学 理学8号館309号室
  
- 9 2012年度日本気象学会奨励賞受賞候補者の推薦  
2012年度度日本気象学会奨励賞受賞候補者の推薦募集があったが、候補者の推薦及び該当者がなく、推薦はない旨報告された。
  
- 10 2012年度 秋季全国大会開催報告  
日 時：2012年10月3日（水）～5日（金）  
場 所：北海道大学学術交流会館、クラーク会館  
参加者：約801名  
一般講演：442件  
スペシャル・セッション：97件  
懇親会：177名（参加者）

## 平成 24 年度支部会計収支計算書 (2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

項 目	予算額	決済額	差引残高
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	580,400	580,400	0
夏季大学等補助金	100,000	100,000	0
事業収入 (事項なし)	0	0	0
雑収入			
預金利息	118	118	0
その他(前年度繰越金)	220,938	220,938	0
事業活動収入計	901,456	901,456	0
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
気象講座経費*	150,000	104,546	45,454
特別気象講演会経費*	0	0	0
気象講演会経費	150,000	14,179	135,821
支部機関誌刊行経費	190,000	118,667	71,333
「細氷」印刷費	(170,000)	(104,107)	(65,893)
「細氷」郵送費	(20,000)	(14,560)	(5,440)
管理費支出			
会議費	40,000	10,626	29,374
会場・お茶経費	(40,000)	(10,626)	(29,374)
支部役員選挙経費	50,000	50,444	△444
総会・研究発表会経費	30,000	21,210	8,790
交通費	20,000	22,700	△2,700
理事会・幹事会・全国大会	(20,000)	(28,700)	(△8,700)
事務費	20,000	151,935	△131,935
事務用品費	(20,000)	(151,935)	(△131,935)
通信費	140,000	347,920	△207,920
郵送・電信	(10,000)	(6,775)	(3,225)
ホームページ運営費(サーバー含)	(20,000)	(19,850)	(150)
ホームページ更新費	(110,000)	(321,295)	(△211,295)
事業活動支出計	790,000	842,227	△52,227
III 予備費支出			
予備費	111,456	0	111,456
合 計	901,456	842,227	59,229

\*平成 24 年度は特別気象講演会を気象講座に名称変更することに伴い、前年度に計上されている気象講座経費及び特別気象講演会経費を廃止し、気象講座経費として新しく配分する。なお、気象講演会に「気象講座経費・サイエンスカフェ経費」を組み込み計 15 万円計上